

やすらはげで寝なま^{止める}りものを

さ夜更^{おぼろぐとめり}けてかたぶくま^{つき返す}ぎでの

月を見しかな

中一二三

ためらわずに寝てしまいましたのに、
今か今かとお持ちしているうちに夜が更けて、
とうとう西の山に傾くまでの月を見たことをごさいますよ。
(百人一首五九番 赤染衛門)